

第3回やまなしスポーツエンジン（仮称）設立準備委員会 概要

1. 日時

令和3年8月24日（火曜日）午後2時00分～午後4時00分

2. 場所

オンライン会議

3. 出席者

○ 構成員

中山哲郎、五十嵐雅彦、遠藤俊郎、金子政一、高原幸次、田部純一、
玉川武年、辻昌彦、土屋淳、内藤裕志、入戸野文隆
欠席者：清水正

※座長以外は五十音順、敬称略

○ 山梨県

スポーツ振興局理事

4. 会議概要

- ・ スポーツアクティビティーで経済を回していくという中で、課題があると思う。何かする上での課題も来年からの3年間で整理していくことを明示しておいた方が良いと思う。
- ・ メインターゲットで、1都3県（東京・神奈川・埼玉・千葉）でスタートしていこうということだが、東富士五湖道路から御殿場方面の道路もよくなり、中部横断自動車道も全線開通するので、ここへ静岡県をプラスしながら活動していったらどうか。
- ・ アップサイクル（高付加価値化）に繋がるような、スポーツの新しいものを考えていく議論の方が、新しいものが生まれたり、マネタイズの可能性が出てくると思う。そういった議論の方向性を一つ示すのも良いのではないか。
- ・ 事業計画を作っていく時に、優先順位をつけて、具体化できるものを作っていくのが一番良いと思う。やはり、このような形で新しいものを作っていくときに、県の事業でありながらもベンチャーマインドを持ってやっていると思うので、優先順位を付けることによって、組織化であるとか予算立ても出てくると思う。
- ・ 施設を使って人を呼び込むために、施設の再評価もすごく大事だと思う。今ある施設は、かいじ国体の時の施設なので、かなり年数が経っている。そういったものをどのように新しくしていくのか、人が呼び込める施設にできるのかというところも非常に大事だと思うので、その辺も議論の中に入れていただければと思う。

【公開用】

- 県有林を有効活用しましょうということであれば、他産業との組み合わせになるので、連携が重要だと思う。例えば、アミューズさんともそうだと思うが、そうなると、どのくらい連携ができるかということも一つのKPIではないかなと思う。
- 事業化するにあたっては、やはり、小さく産んで大きく育てるというのが基本だと思うので、一つ集中的にモデルケースになるような事業を実施した方が良いのではないかと感じた。
- 県全体でスポーツ関連消費を取り込んでいきたいということなので、是非スポーツ大会等々した場合に、まさにこの消費が起きるように、旧来の日帰りで帰ってしまう人達に、泊まらせるような仕掛けとか或いは飲食させていくような仕掛けづくりを是非業務としてやっていただきたい。